

第5回 鳴門市まちづくりデザイン会議を開催

12月の第4回デザイン会議以降に起きた現状や、新スポーツ施設の立地について報告を行ったほか、鳴門市まちなか未来ビジョン素案で提示したコンセプトと、まちのコアについて議論しました。

参加委員：内藤座長、永易委員、林委員、森下委員、河野委員、西谷委員、黒崎委員、池田委員

現状報告・新スポーツ施設の立地について

汽車公園イルミネーションや「リノベーションまちづくり」講演会の実施について報告しました。

・講演会は約70名が参加し、まちなかの使い方を事例を挙げて報告されました。

鳴門センター街ビル跡地・新スポーツ施設について状況を報告しました。

【新スポーツ施設について】

- ・**スポーツ施設の会議では、早期に実現してほしいとの意見が多かった。**
- ・長期的な目線で、運用コストも含めて検討してほしいと考えている。
- ・委員会の決定事項は尊重する必要があるが、立派な施設を作ったのに使われていない事例も多くある。
- ・「早く欲しい」というのであれば、それに合わせて施設をフルに使うことも考えなければならない。そのため、**施設を最大限に活用される状態を作っていくことも考えてもらいたい。**
- ・市民会館のような施設であれば駅前の方が使いやすいのではないか。
- ・**プールと体育館は同じスポーツ施設だが、本来は利用の仕方が全然違う。**分けて整備するっていう発想は無いのか。
- ・**体育館は、色んな目的の方が利用する。文化施設的な意味合いを持つ体育館については、必ずしもプールと一体で整備する必要はないのではないか。**
- ・**プールと体育館のように大きなスパンを飛ばす構造で2階建てにするというのは、そんなに効率のいいことではない。**
- ・施設を無理に使ってもらうために機能を追加していくと、維持管理費も増えていく。
- ・近年の建設事情は、大型建築プロジェクトがどんどん遅延あるいは中止になっている。そのため、鳴門市としては、**用意周到にかつ大胆にやるべきプロジェクトであると思う。**
- ・建設コストの増加に関しては、少し前であれば成り立っていたものが成り立たなくなっている現状がある。
- ・投資額を利用人数で割って、一人一人にどの程度の負担が生じるかを計算して判断すると、冷静に考えられるのではないか。
- ・大きいものを建てすぎてしまうと、次に何か新しいことをするとき障害になってしまうということも考える必要がある。
- ・海に近接した敷地は、湿気と塩分が多く、老朽化が進行しやすいという懸念があるのでは。
- ・小学生の人数は10年後を見据えるともっと減っていくが、学校のプールはものすごく老朽化しているという話を聞く。子供たちが使えるよう早急に整備を進めてほしいという思いがある。
- ・ボートレース西側になると、まちの機能が鳴門市の中で点在することになるので、**中心市街地とどうつなげていくのか、公共交通機関も含めて回遊性整備の検討が必要になる。**
- ・立派な施設ができてまちなかが衰退してしまうということもあるので、大事なのはまちなかを置いてきぼりにしない知恵をさぼること。
- ・子供たちに「何年後にはまちなかにこれができる」「このまちなかはこうなっていく」ということを大人が確信を持って伝えられるかどうかが大変である。それが言えないと無責任である。
- ・**決断が必要、10年後に向けたはっきりとしたビジョンを描く必要があり、それがこのデザイン会議の役割である。**



汽車公園イルミネーション

第5回鳴門市まちづくりデザイン会議 議事録 概要版

会議の日程

- 第1回 令和7年3月24日(月) 済
- 第2回 令和7年6月13日(金) 済
- 第3回 令和7年8月9日(土) 済
- 第4回 令和7年12月2日(火) 済
- 第5回 令和8年2月18日(水)
15時半～17時半
鳴門市役所2階大会議室



第5回の会議の様子



リノベーションまちづくり講演会



ボートレース鳴門西側敷地

鳴門市まちなか未来ビジョン素案

鳴門市まちなか未来ビジョン素案を作成し、コンセプト案について議論しました。

【コンセプト案】

- ・スケッチを見ているだけでも良くなっていくことが感じられる。谷通りと川と繋がることでこのあたりが活性化され、**新しい風が吹いてくる印象を受ける。コンセプト案は①が良い**と思う。③の「むやるじょ」は、なかなかパツとは思いつかばないので、コンセプトとしては難しい。
 - ・コンセプトは、**①と④が一番わかりやすい。**”つどう”、”つながる”、”そだてる”のうち、**”つなぐ”という言葉が重要。**人と人だけでなく、場所、世代など、広い意味で捉えられるようにすると良い。
 - ・未来ビジョンは見た人は期待するのでそれを裏切らないように。コンセプトはどれも良いが、できるだけわかりやすく、**端的なものが良い。**内容はしっかりされているので、市民等の意見を聞いて決めていければ良い。
 - ・コンセプトは当初は「むやるじょ なる」と良いとを推していたが、どれかひとつ選ぶなら**①に1票。**
 - ・若い人に発してもらわないといけない。長いと覚えにくいのでは。③の「むやるじょ」がいい。
 - ・コンセプトは**①が良い。**まずは**「いい風を吹かす」ことが重要。**
-
- ・若者がワクワクする場に加え、いろんな属性の人が使えるまちにしたい。**このビジョンの中に もう少し泥臭く、鳴門の人でないに出てこない表現を入れていきたい。**
 - ・心に響いた言葉は**「このままでよいのか」という表現、**未来ビジョンに込めた思いのページで、行政だけでなく、市民側も同じように危機感を持っているということを示し、多くの人に現状を知ってもらうことが大切である。
 - ・活動イメージが示されており、具体的にどのように使われるのかといったイメージ図や、実際これを実施することでどういうことができるのかイメージ出来るようになったのは良い。



まちのコアについて

- ・連続立体交差事業は鳴門のような市街地だと、20年程かかる。**20年後に出来上がっても、まちに人がいないことも考えられる。**
- ・連続立体交差は地方都市ではなく東京、首都圏、名古屋では効果があるが、**地方都市だと費用に対する効果が出ないことが想定される。まちの衰退、人口動態、市場の変化等も踏まえた判断が必要。**
- ・自治体の負担の大きい事業であり、比較検討はしっかりやるべきであり、意見を受け納得してもらえるように勧めて欲しい。

次回の議論の方向性

- ・未来ビジョンのパブリックコメントの報告
- ・基本計画について議論を進める
- ・コアの位置、駅周辺施設の具体的整理を進める
- ・社会実験の内容について共有する

これまでの会議で議事録や資料については、市公式ウェブサイトをご覧ください。右のQRコードからも閲覧できます。

§ 次回は、6月2日開催です。ウェブサイト・広報紙にてご確認ください。

- 【鳴門市まちなか未来ビジョンのコンセプト案】
- ①鳴門に吹く「いい風」が、愛する「まち」を育てます
 - ②若い風がめぐるまち われらのなる
 - ③むやるじょ なる
 - ④たのしい暮らしを、おすそ分け

▶▶ 「いい風」を吹かすことが良いのではとの意見より①案を採用することとしました。

